

課 長	係 長	検 算	設 計

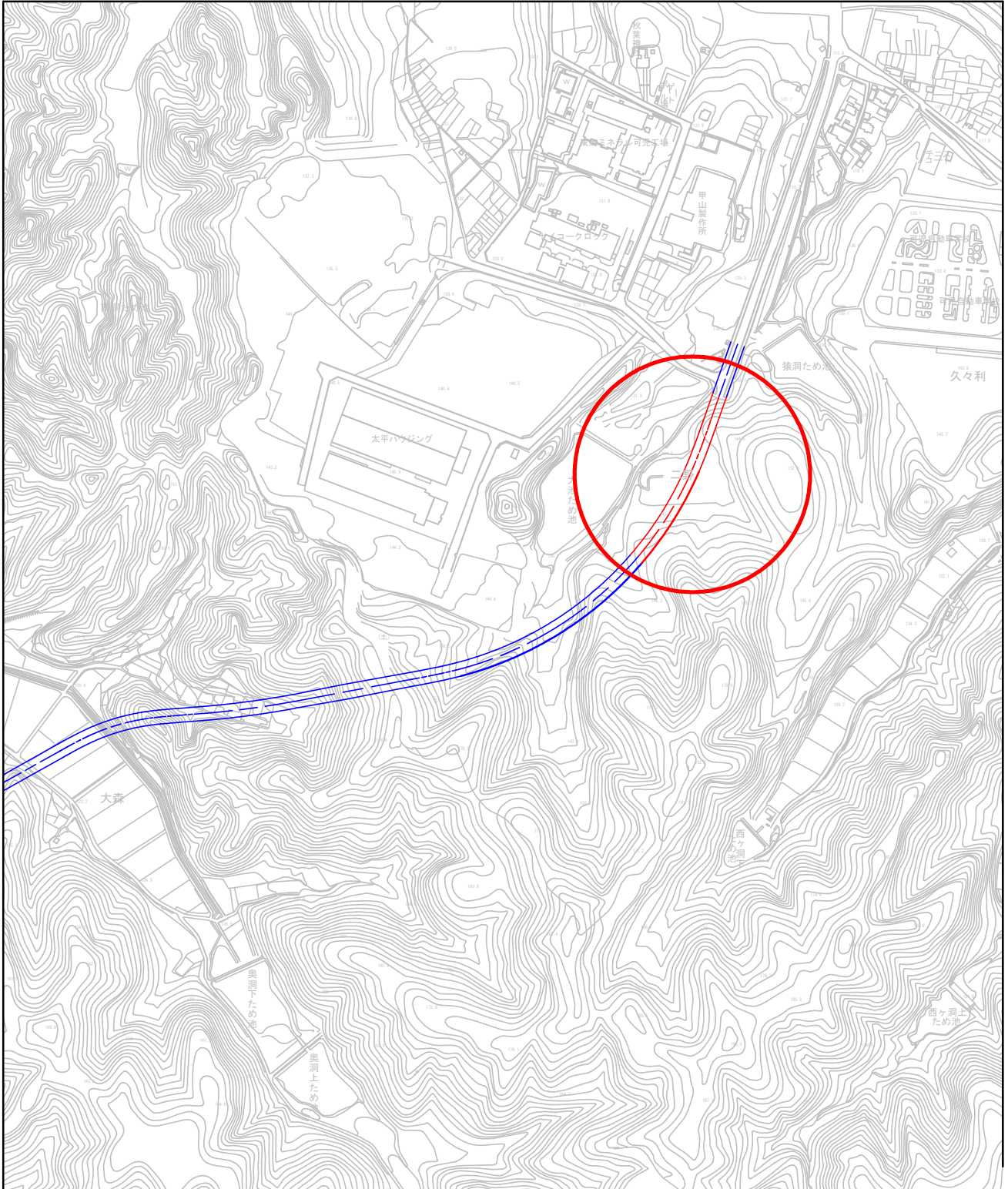
事業年度	平成 29 年度
事業種別	補助
工事番号	市 56 工-2

工事名 平成 29 年度 市道 56 号線（二野・大森線）舗装工事

---

可児市 建設部 土木課

# 位置図



— 計画線

— 今回施工区間

件名	平成 29 年度 市道 56 号線（二野・大森線）舗装工事		
施工場所	可児市 二野 地内		
金額	円	内消費税相当額	円
理 由			
<p>本路線は、市道 56 号線（二野・大森線）として都市計画決定された路線であり、可児御嵩 IC から二野工業団地へのアクセス道路として企業立地・広域交通の利便性の向上を目的とする道路である。</p> <p>本工事は、過年度より継続の事業であり舗装工事を実施する。</p>			
概 要			
<p>土工 N=1 式</p> <p>舗装工 車道舗装 (A) A=1640m<sup>2</sup></p> <p>車道舗装 (B') A=230m<sup>2</sup></p> <p>歩道舗装 (A) A=1020m<sup>2</sup></p> <p>道路付属施設工</p> <p>標識工 片持ち標識(A) N=2 箇所</p> <p>道路照明灯設置工 照明灯 (A) N=6 箇所</p> <p>仮設工 N=1 式</p>			
特 記 仕 様 書			
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 受注者は、受注時、変更時、完成時の各時点において工事請負代金額が500 万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を提出し監督員の確認を受けた後に、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、完了時は完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き10 日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金500万円未満に変更する場合には変更時登録を行うものとする。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。</p> <p>(4) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、所定の様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p>			

(5) 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（平成 17 年法律第 51 条）」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 3 年 10 月 8 日付建設省経機発第 249 号、最終改定平成 22 年 3 月 18 日付け国総施第 291 号）」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定（平成 18 年 3 月 17 日付け国土交通省告示第 348 号）」もしくは「第 3 次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成 18 年 3 月 17 日付け国総施第 215 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械（以下「排出ガス対策型建設機械等」という。）を使用しなければならない。

排出ガス対策型建設機械等を使用できないことを監督員が認めた場合は、平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発技術の技術審査・証明事業もしくは、建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することができるが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタシャベル（車輪式） ・ブルドーザ ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット （以下に示す基礎工事用機械のうちベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの： 油圧ハンマ、パイプロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機） ・ローラ類 （ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ） ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力 7.5kw 以上 260kw 以下）を搭載した建設機械に限る。
・オフロード法の基準適合表示が付されているもの又は特定特殊自動車確認証の交付を受けているもの ・排出ガス対策型建設機械として指定を受けたもの	

## 2. 産業廃棄物の適正処理について

(1) 受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認しなければならない。

(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。ただし、建設発生土が 100m<sup>3</sup> 未満の場合はこの限りではない。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。

### 3. 使用材料

#### (1) アスファルト再生合材について

本工事で使用するアスファルト再生合材には「ささゆりクリーンパーク溶融スラグ」を混入するものとし、使用にあたっては、「溶融スラグの土木資材への利用に関するガイドライン（可児市）」によること。

#### (2) コンクリート二次製品について

本工事に使用するコンクリート二次製品については、ささゆりクリーンパーク溶融スラグ混入資材を使用するものとし、施工前に溶出試験結果等の品質を証明する書類を提出し、監督員の許可を得ること。

#### (3) 生コンクートについて

本工事に使用する生コンクリート（均しコンクリートを除く）については、水セメント比60%以下とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。

### 4. 工事施工について

(1) 契約書18条第1項第1号から5号に係る設計図書の照査を行い、監督員の確認を受けて施工を行うこと。

(2) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。

(3) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、受注者の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。

(4) 工事着手前に、可児市基準点（世界測地系）を用い、境界（座標）を確認すること。また、特に指示しない限り、構造物を官民境界とするため、官民境界と構造物の位置を示した図面等にて施工した構造物が民地を侵していないことを報告すること。

(5) 施工区間と現道との取付については、交通の支障とならないよう充分留意すること。

(6) 必要に応じ交通誘導警備員を配置し、安全を期さなければならない。また、夜間の安全確保についても十分な対策を施すこと。

### 5. 工事保険について

本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険（保険対象：第三者に与えた損害）及び工事保険（保険対象：工事目的物、工事材料及び仮設物等）に加入するものとする。

### 6. ワンデーレスポンスの取組について

(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。

「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。

(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。

### 7. 電子納品について

「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。

## 8. 暴力団等による不当介入における通報義務について

- (1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成22年可児市訓令甲第47号）に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。
- (2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。

## 9. 現場代理人の兼務について

現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。

また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。

1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が2,500万円未満であること。
5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。

なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員が認めた場合は、兼務を取り消すものとする。現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。

## 10. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材搬入、仮設工事等が開始されるまでの期間）については主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督職員と打ち合わせにおいて定める。

また、工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）事務手続き、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者または監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

## 11. その他

- (1) 受注者は起工測量を実施し、設計図面の照査を行い、報告書を提出すること。なお、土地の形状が大きく異なる場合は変更対象とする。
- (2) 受注者は岩掘削にて発生した岩砕は出来るだけ小さく小割（30cm以下）を行い、処分先での圧密洗下の発生の原因となる間隙を出来るだけ生じさせないように努めること。
- (3) 当該工事に使用する基準点はNo.42付近にあるKBM.2（2-06G017）H=130.175とする。
- (4) 建設発生土の受け入れ先の工事及び周辺工事との綿密な工程調整を行い、事業のスムーズな進捗を行うこと。また、運搬土量の管理を行うこと。
- (5) ~~建設発生土の処分単価は1,300円/m<sup>3</sup>とする。~~
- (6) 建設発生土については、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき管理するものとする。また、本工事の建設発生土において土壌検査を実施し、結果を監督員に報告するものとする。
- (7) 路盤施工前に路床のCBRについて確認を行うものとする。

- (8) 道路照明灯については「道路照明施設設置基準 平成 19 年 9 月」(国土交通省)、「道路照明施設設置基準・同解説 平成 19 年 10 月」((社)日本道路協会)及び「LED 道路・トンネル照明導入ガイドライン(案) 平成 27 年 3 月」(国土交通省)を参考に施工・管理を行うものとする。
- (9) 道路照明器具及び標識柱の間接工事費については、「積算基準及び歩掛表 岐阜県県土整備部都市建築部 平成 28 年度」に準ずるものとする。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 平成29年度市道56号線(二野・大森線)舗装工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (教育文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間 (NC ~ NO. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 (全区間 ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期 ( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> A. 騒音 ( ) <input type="checkbox"/> B. 振動 ( ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. アスベスト含有材あり <input type="checkbox"/> B. フロン回収あり <input type="checkbox"/> C. その他 ( )
安 全 対 策	<input type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 交通誘導整理員	<input checked="" type="checkbox"/> A. 区間 (No. 片持標識(A)建柱時) 配置人員 2 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間 ( ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間 (NC ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 3. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 4. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )



明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生土 建設（産業）廃棄物 関	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( ) Km <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷均、締固等）必要 <input type="checkbox"/> D. 整地（押土）必要
	<input type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( ) Km <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 場所（市道56号線 No.87付近） <input checked="" type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地（押土、敷き均し、転圧）あり <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( 1.7 ) Km <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり（運搬距離 <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. ストックヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( ) Km <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「可児市が発注する公共工事から発生する産業廃棄物適正処理について」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票（マニフェスト） <input checked="" type="checkbox"/> B. 建設発生土処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. クレダス <input type="checkbox"/>
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり（電気）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（H 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり（電話）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（H 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり（水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（H 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり（下水道）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（H 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり（ガス）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期（H 年 月頃） <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり（マンホール蓋、仕切り弁蓋等）	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり（その他）	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期（別途協議）
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再生材使用及び溶融スラグ	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材（30%再生） <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材（100%再生） <input type="checkbox"/> D. 溶融スラグ使用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 再生材を使用できない場合別途協議
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. イメージアップあり	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 當繕費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 特別なイメージアップ ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工事事品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )























【施P】上層路盤(車道・路肩部)  
再生瀝青安定処理材 95mm超100mm以下 1.4m以上 プライムコートPK-3

## 代価表

11号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	アスファルトフィニッシュ[排出ガス対策型(第2次基準値)] ホイール型・舗装幅2.4~6.0m					
K2	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t					
K3	ロードローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	瀝青安定処理材 再生瀝青安定処理材 アスファルト再生合材				22号代価表	
Z2	アスファルト乳剤 PK3 プライムコート用					
Z3	軽油 小型ローラー バトル給油					

【施P】下層路盤(車道・路肩部)  
125mm超175mm以下 再生クラッシュランRC-40

## 代価表

12号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	モータクレータ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 土工用・プレート幅3.1m					
K2	ロードローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m					
K3	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t					
R						
R1	運転手(特殊)					
R2	普通作業員					
Z						
Z1	再生砕石 RC-40					
Z2	軽油 小型ローラー バトル給油					



## 代価表

【施P】表層(歩道部)  
25mm以上35mm未満 1.4m以上 再生細粒度アスコン(13) プライムコートPK-3

15号代価表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K					
K1					
K2					
R					
R1					
R2					
R3					
R4					
Z					
Z1				25号代価表	
Z2					
Z3					

## 代価表

【施P】上層路盤(歩道部)  
75mm以上125mm以下 各種

16号代価表

1 m2当り

名 称 ・ 規 格	構 成 比	積算地区単価	基準地区単価	摘 要	備 考
K					
K1					
K2					
R					
R1					
R2					
R3					
Z					
Z1					
Z2					









【施P】上層路盤(車道・路肩部)  
再生瀝青安定処理材 75mm超85mm以下 1.4m以上 プライムコートPK-3

## 代価表

23号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	アスファルトフィニッシュ[排出ガス対策型(第2次基準値)] ホイール型・舗装幅2.4~6.0m					
K2	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t					
K3	ロードローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	瀝青安定処理材 再生瀝青安定処理材 アスファルト再生合材				22号代価表	
Z2	アスファルト乳剤 PK3 プライムコート用					
Z3	軽油 小型ローラー ハードローラ給油					

【施P】上層路盤(車道・路肩部)  
瀝青安定処理材 65mm超75mm以下 1.4m以上 タックコートPK-4

## 代価表

24号代価表

1 m2当り

	名称・規格	構成比	積算地区単価	基準地区単価	摘要	備考
K						
K1	アスファルトフィニッシュ[排出ガス対策型(第2次基準値)] ホイール型・舗装幅2.4~6.0m					
K2	タイヤローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] 普通型・質量8~20t					
K3	ロードローラ[排出ガス対策型(第1次基準値)] マカダム・質量10~12t・締固め幅2.1m					
R						
R1	普通作業員					
R2	特殊作業員					
R3	運転手(特殊)					
R4	土木一般世話役					
Z						
Z1	瀝青安定処理材 瀝青安定処理材 アスファルト再生合材				26号代価表	
Z2	アスファルト乳剤 PK4 タックコート用					
Z3	軽油 小型ローラー ハードローラ給油					

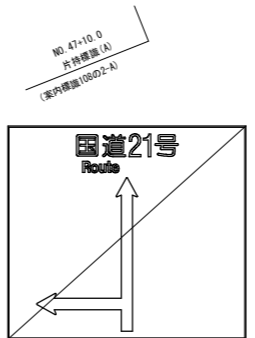
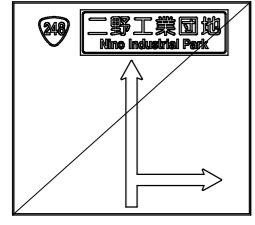




平面図(1)

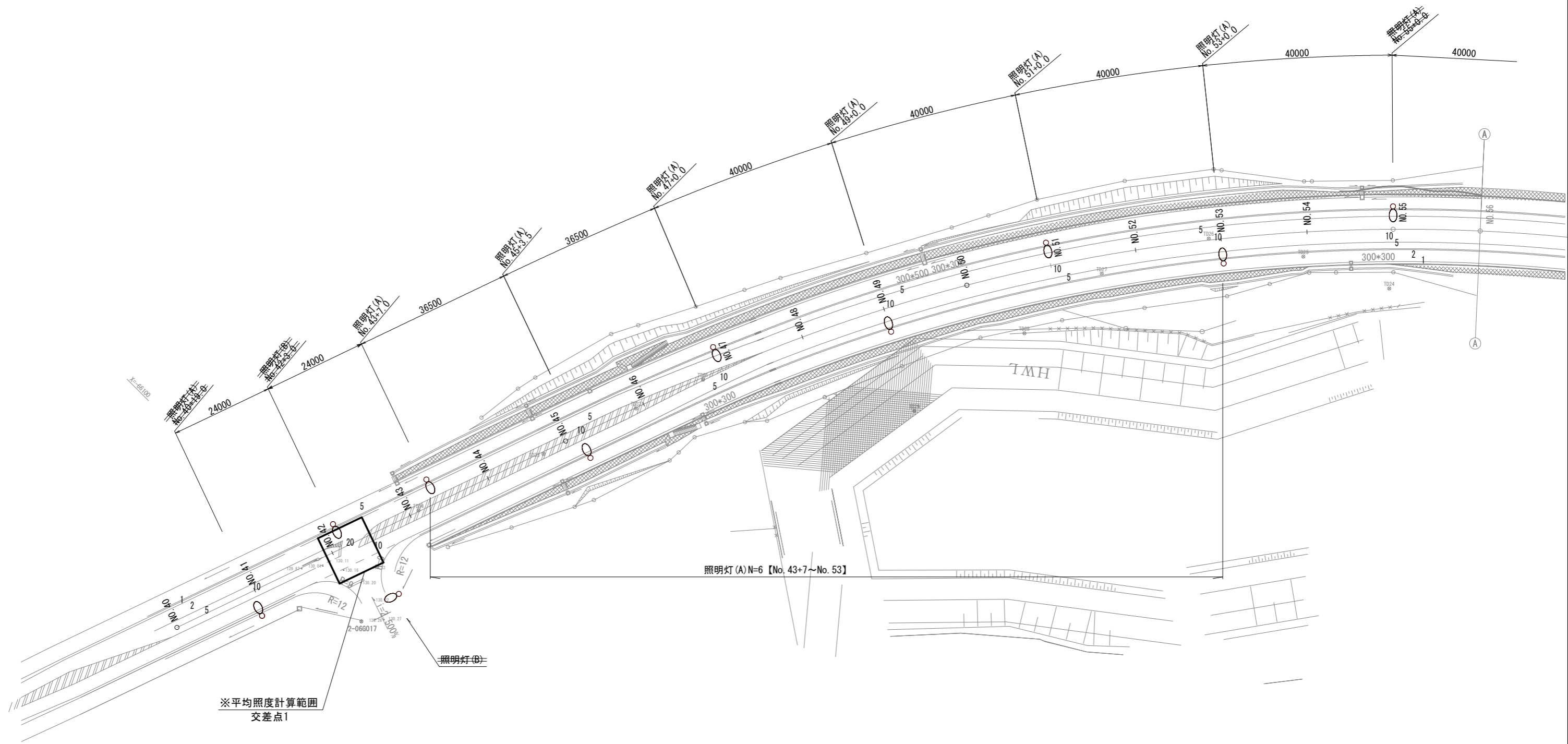
S=1:500

舗装工 一式  
 本線舗装(A) A=1463㎡<No. 44+3~53+0>  
 本線舗装(B) A=230㎡<No. 43~44+3.0>  
 歩道舗装(A) A=1010㎡<No. 43~53>



業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	平面図(1)		
縮尺	1:500	図面番号	1
会社名			
事務所名	可見市建設部土木課		

(照明灯については別途平面図参照)  
(標識板: 別途工事)

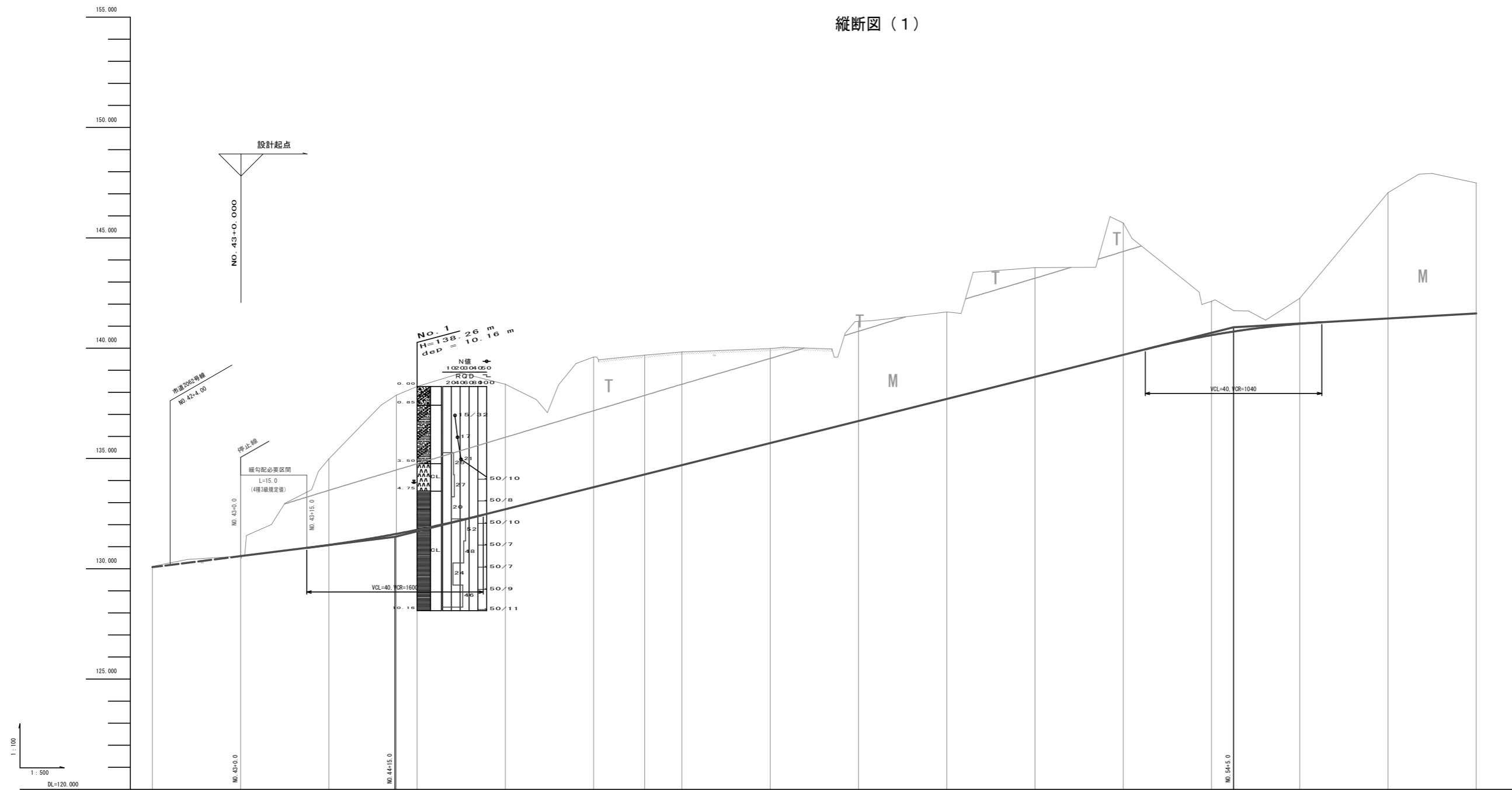


凡例

照明器具形式	KCE050-2
ランプ形式	LED
定格光束 (lm)	6200以上
保守率	0.7
灯高 (m)	10
台数	26

業務名	平成29年度 市道56号線 (二野・大森線) 舗装工事		
路線名	市道56号線		
施工箇所名	可見市 二野地内		
図面の種類	照度分布図 (1)		
縮尺	1:100	図面番号	2
会社名			
事務所名	可見市 建設部 土木課		

縦断面図(1)



計画	勾配	100.570		131.445		140.945		140.945		
	盛土	0.00		3.90		5.67		4.29		
	切土	0.00		6.79		5.41		5.14		
	計画高	130.570	131.070	131.900	131.760	132.695	133.695	137.695	138.695	
地盤高	130.11	130.57	134.98	137.87	138.26	138.38	139.88	141.22	141.64	
追加距離	840.000	860.000	880.000	895.290	900.000	920.000	940.000	1000.000	1020.000	
点間距離	20.000	20.000	20.000	15.290	4.720	20.000	20.000	20.000	20.000	
測点	NO.42	NO.43	NO.44	KA.1-1	NO.45	NO.46	NO.47	KE.1-1	NO.48	
曲率半径	$R = \frac{V^2}{a \cdot g}$ $R = \frac{100^2}{0.05 \cdot 9.8}$ $R = 20408.16 \text{ m}$									
横断勾配										
幅幅据付図										

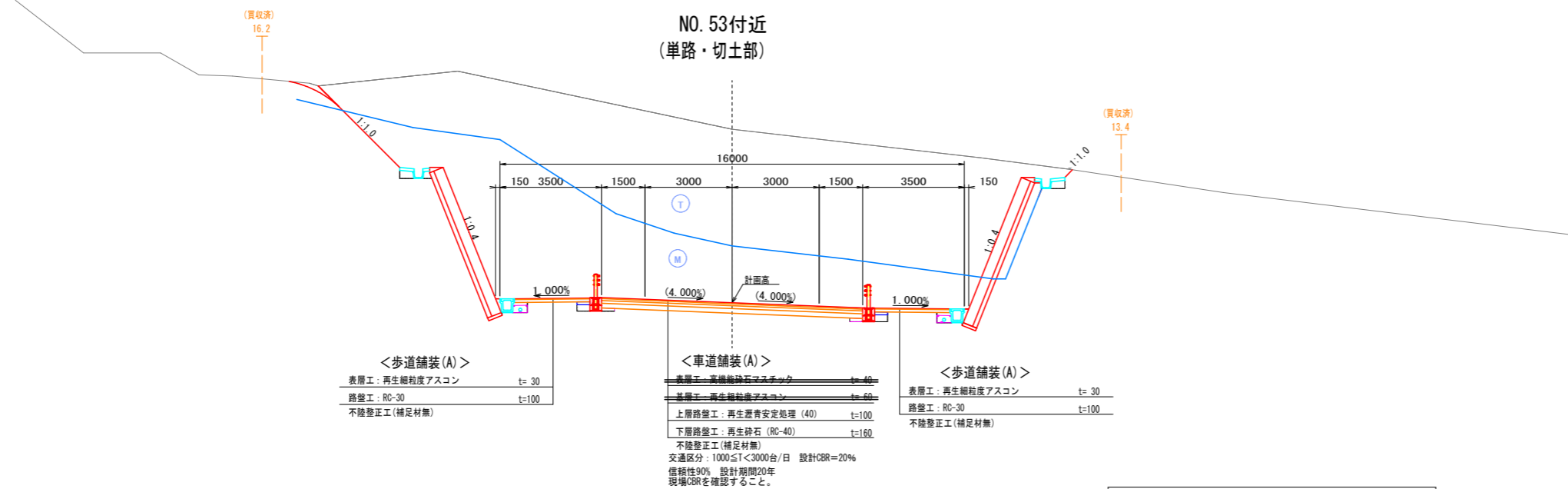
土層凡例  
 t1: 産物堆積物  
 T: 礫質土層  
 M: 軟岩

※1 想定土層はあくまで想定ですので、現場の対応をお願いします。

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事
路線・河川名等	市道56号線
施工箇所名	可見市二野地内
図面の種類	縦断面図(1)
縮尺	V=1:100 H=1:500
会社名	
事務所名	可見市建設部土木課

標準横断面図(1)

S=1:100



<歩道舗装(A)>  
 表層工: 再生細粒度アスコン t=30  
 路盤工: RC-30 t=100  
 不陸整正工(補足材無)

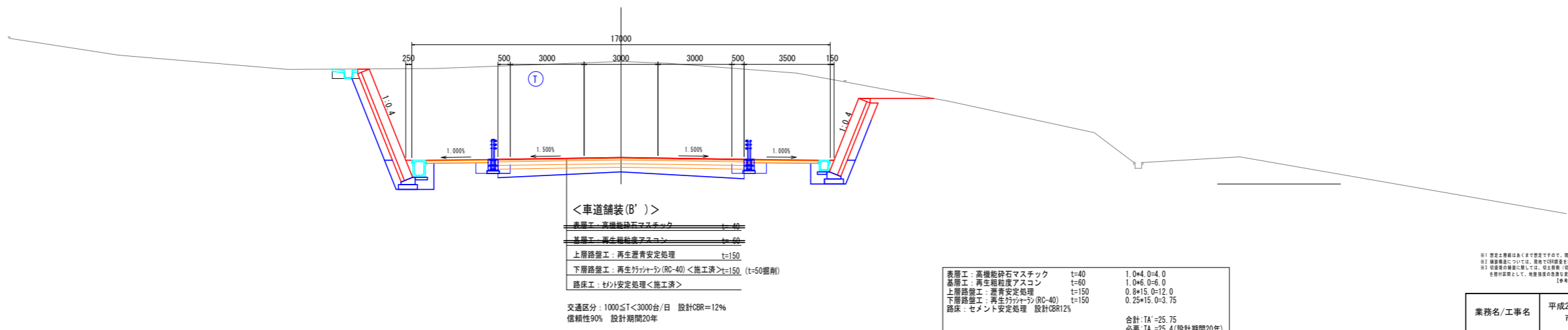
<車道舗装(A)>  
 表層工: 高機能砕石マステック t=40  
 基層工: 再生粗粒度アスコン t=60  
 上層路盤工: 再生薄青安定処理(40) t=100  
 下層路盤工: 再生砕石(RC-40) t=160  
 不陸整正工(補足材無)  
 交通区分: 1000≦T<3000台/日 設計CBR=20%  
 信頼性90% 設計期間20年  
 現場CBRを確認すること。

<歩道舗装(A)>  
 表層工: 再生細粒度アスコン t=30  
 路盤工: RC-30 t=100  
 不陸整正工(補足材無)

表層工: 高機能砕石マステック	t=40	1.0*4.0=4.0
基層工: 再生粗粒度アスコン	t=60	1.0*6.0=6.0
上層路盤工: 薄青安定処理	t=100	0.8*10.0=8.0
下層路盤工: 再生砕石(RC-40)	t=160	0.25*16.0=4.0
路床: 既存土上 設計CBR20%		
合計: TA'		=22.0
必要: TA		=21.8(設計期間20年)

NO. 44

設計=134.98  
 計画=131.078



<車道舗装(B')>  
 表層工: 高機能砕石マステック t=40  
 基層工: 再生粗粒度アスコン t=60  
 上層路盤工: 再生薄青安定処理 t=150  
 下層路盤工: 再生砕石(RC-40) <施工済> t=150 (t=50撤削)  
 路床工: セメント安定処理<施工済>

交通区分: 1000≦T<3000台/日 設計CBR=12%  
 信頼性90% 設計期間20年

表層工: 高機能砕石マステック	t=40	1.0*4.0=4.0
基層工: 再生粗粒度アスコン	t=60	1.0*6.0=6.0
上層路盤工: 薄青安定処理	t=150	0.8*15.0=12.0
下層路盤工: 再生砕石(RC-40)	t=150	0.25*15.0=3.75
路床: セメント安定処理 設計CBR12%		
合計: TA'		=25.75
必要: TA		=25.4(設計期間20年)

H25の舗装構成(設計10年)

<車道舗装(B)>		
表層工: 高機能砕石マステック	t=40	1.0*4.0=4.0
基層工: 再生粗粒度アスコン	t=60	1.0*6.0=6.0
上層路盤工: 薄青安定処理	t=100	0.8*10.0=8.0
下層路盤工: 再生砕石(RC-40)	t=200<施工済>	0.25*20.0=5.0
路床工: セメント安定処理 設計CBR12%<施工済>		
合計: TA'		=23.0
必要: TA		=23.0(設計期間10年)OK
必要: TA		=25.4(設計期間20年)OUT

※1 設計土質はあくまで想定であり、現場の対応をお願いします。  
 ※2 舗装構成については、現場での調査を要し、設計に反映してください。  
 ※3 切戻りの場合は、切戻り後(切戻り後の高さ)を基準とし、土質の調査(10m程度)を併行して、現場調査の結果を設計に反映してください。  
 【参考】道路構造令(昭和38年)第25条(1)項、平成24年(第9号)省令

DL=130.00

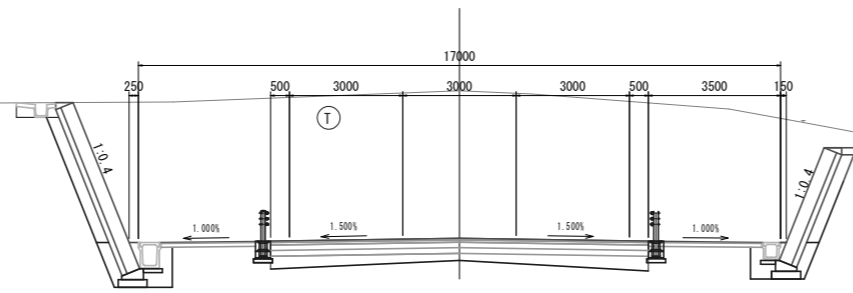
業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	標準横断面図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	4
会社名			
事務所名	可見市建設部土木課		



# 横断図 (1)

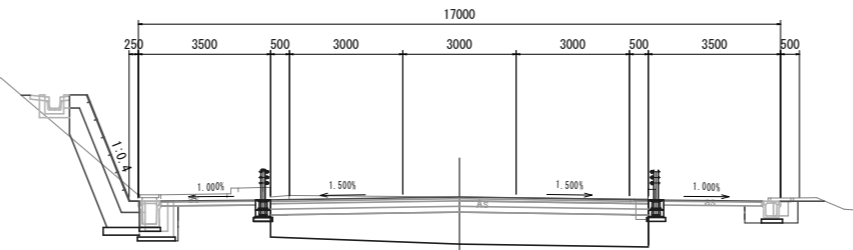
NO. 44  
GH=134.98  
FH=131.078

DL=130.00



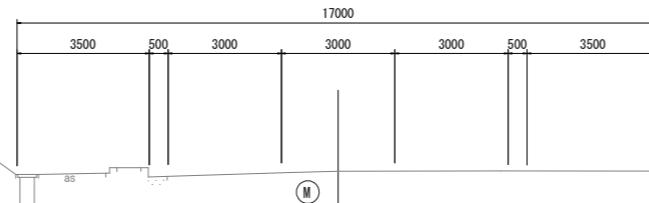
NO. 43  
GH=130.57  
FH=130.570

DL=125.00



NO. 42  
GH=130.11

DL=125.00

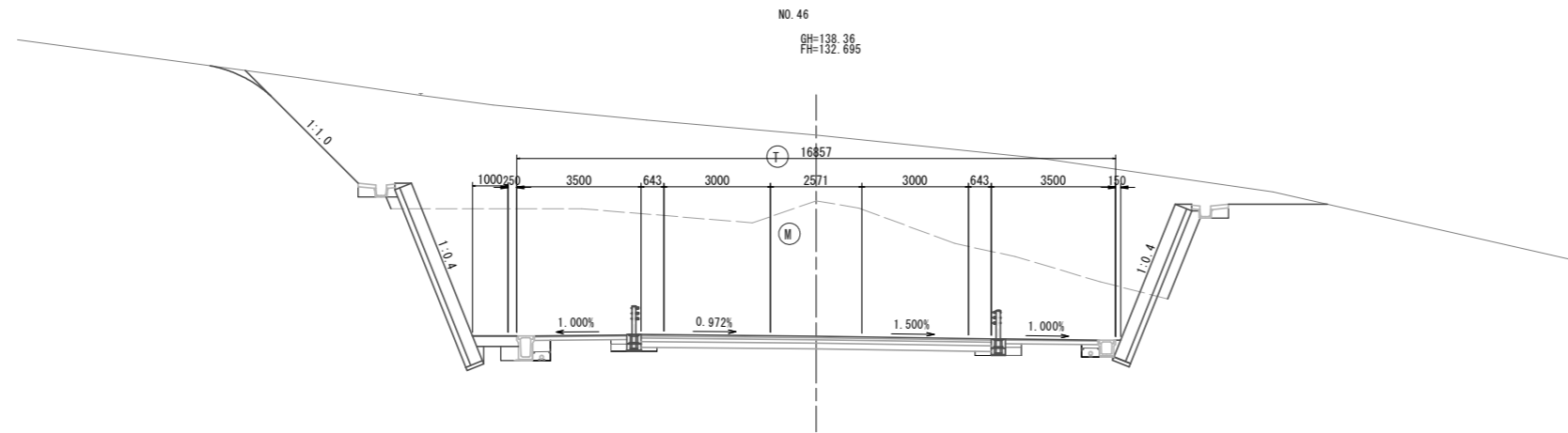


数量表凡例

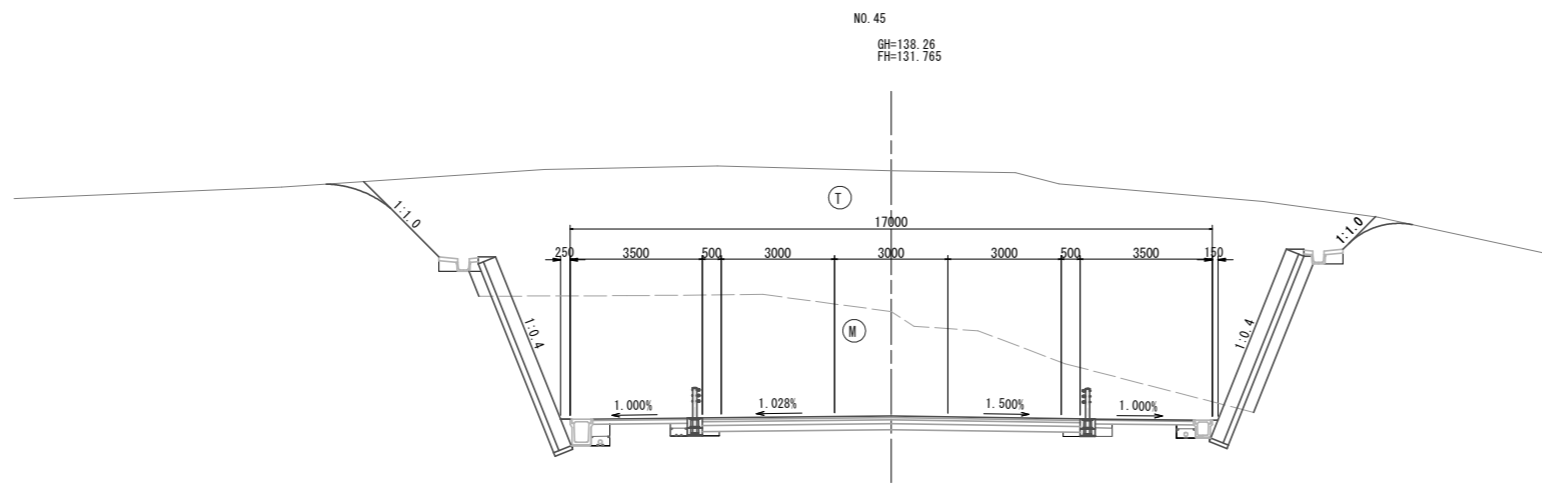
KCA	m <sup>2</sup>	機械掘削
ORCA	m <sup>2</sup>	岩掘削(オ-ブン)
CA	"	人力掘削
KEA	"	機械床掘
REA	"	岩床掘
KSA	"	機械埋戻
SA	"	人力埋戻
BA1	"	路体盛土
BA2	"	路床盛土

業務名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線名	市道56号線		
施工箇所名	可見市 二野地内		
図面の種類	横断図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	5
会社名			
事務所名	可見市 建設部 土木課		

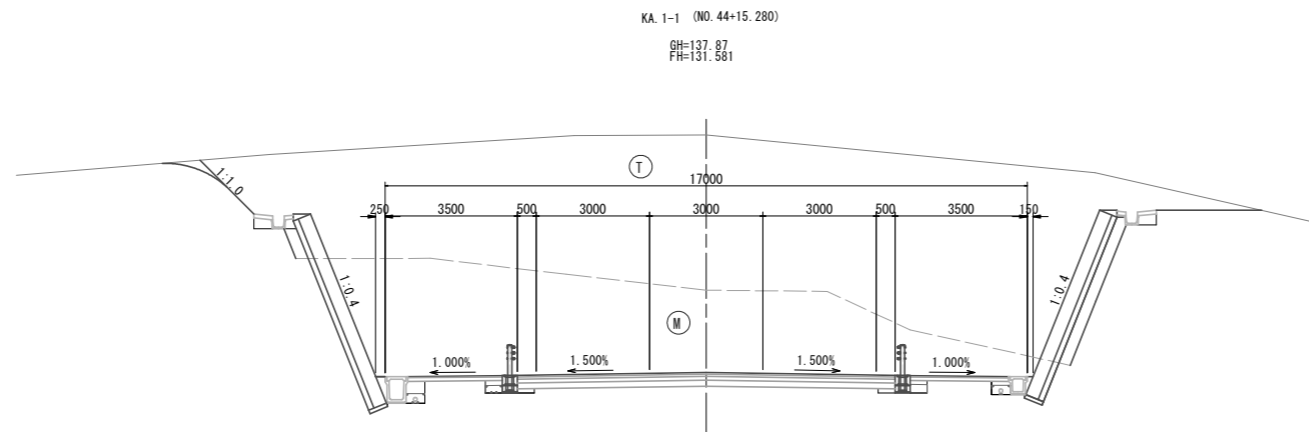
# 横断図 (2)



DL=130.00



DL=130.00



DL=130.00

数量表凡例

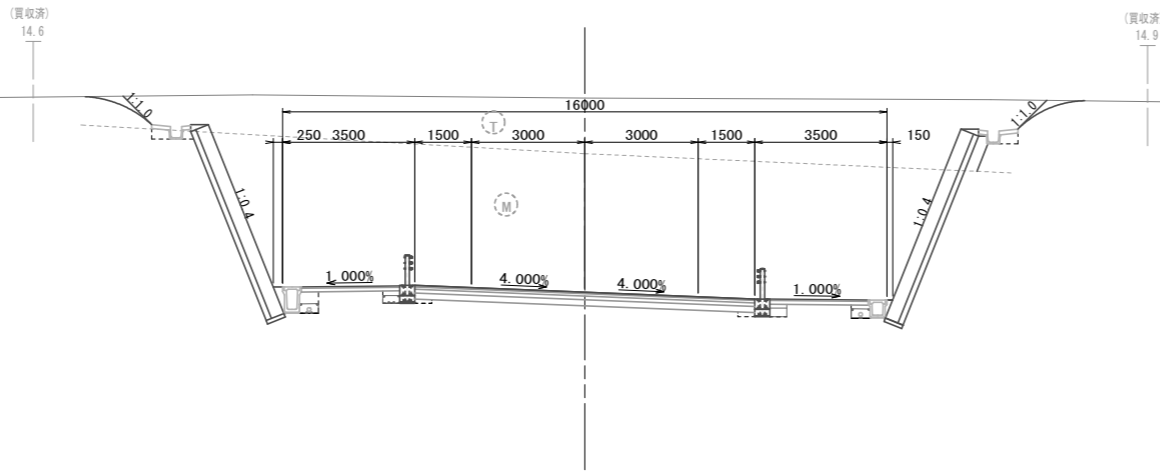
KCA	m2	機械掘削
ORCA	m2	岩掘削(オ-ブ)
CA	"	人力掘削
KEA	"	機械床掘
REA	"	岩床掘
KSA	"	機械埋戻
SA	"	人力埋戻
BA1	"	路体盛土
BA2	"	路床盛土

業務名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線名	市道56号線		
施工箇所名	可見市 二野地内		
図面の種類	横断図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	6
会社名			
事務所名	可見市 建設部 土木課		

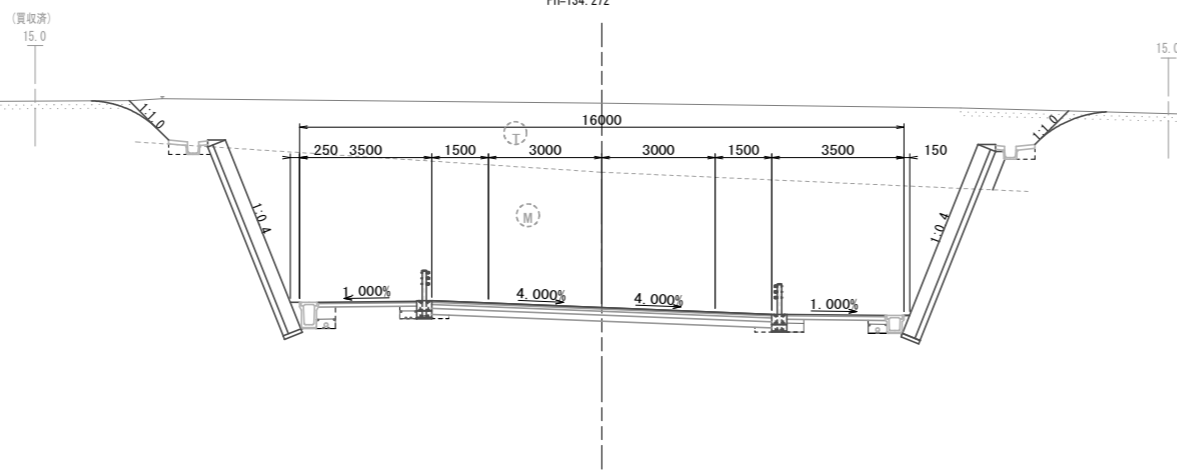
# 横断面(3)

S=1:100

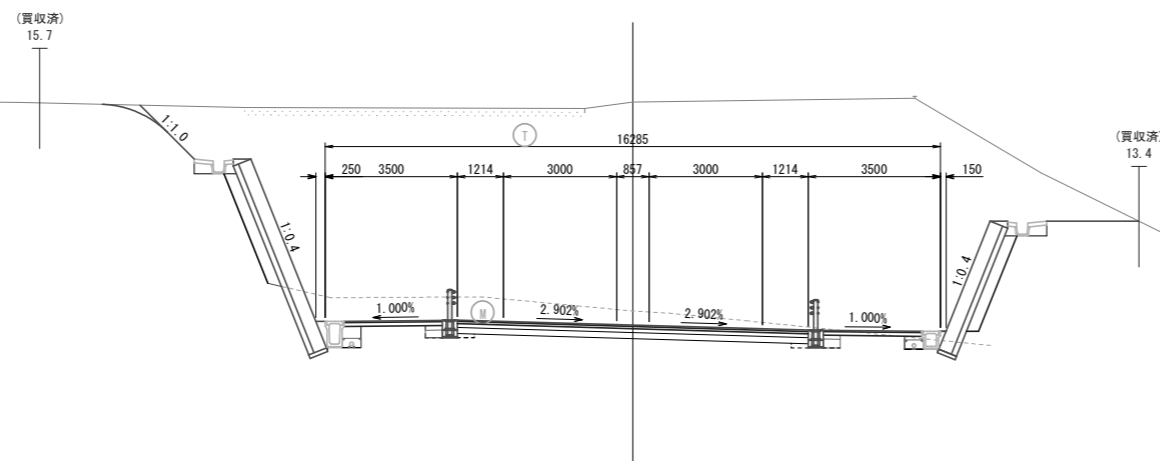
NO. 48  
GH=139.83  
FH=134.695



KE 1-1 (NO. 47+11.530)  
GH=139.68  
FH=134.272



NO. 47  
GH=139.60  
FH=133.695



数量表凡例

KCA	m <sup>2</sup>	機械掘削
ORCA	m <sup>2</sup>	岩掘削(ケブツ)
CA	#	人力掘削
KEA	#	機械床掘
REA	#	岩床掘
KSA	#	機械埋戻
SA	#	人力埋戻
BA1	#	路体盛土
BA2	#	路床盛土

※1 想定土層はあくまで想定ですので、現場の対応をお願いします。  
 ※2 舗装構造については、現地で確認を要し、適切な舗装構成にしてください。  
 ※3 切土量の算出には、切土部が岩の場合5m程度、土砂の場合10m程度  
 を算出範囲として、地層境界の急激な変化を避ける施工をして下さい。  
 『数量』は概算値です。

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	横断面(3)		
縮尺	1:100	図面番号	7
会社名			
事務所名	可見市建設部土木課		

# 横断面 (4)

S=1:100

(買収済) 15.6

NO. 51  
GH=141.64  
FH=137.695

(買収済) 13.0

DL=135.00

(買収済) 13.8

NO. 50  
GH=141.22  
FH=136.695

(買収済) 12.6

DL=135.00

(買収済) 13.6

NO. 49  
GH=139.98  
FH=135.695

(買収済) 13.9

DL=130.00

数量表凡例

KCA	m <sup>2</sup>	機械掘削
ORCA	m <sup>2</sup>	岩掘削(4-7)
CA	#	人力掘削
KEA	#	機械床掘
REA	#	岩床掘
KSA	#	機械埋戻
SA	#	人力埋戻
BA1	#	路体盛土
BA2	#	路床盛土

※1 想定土層はあくまで想定ですので、現場の対応をお願いします。  
 ※2 舗装構造については、現地で3段階調査を実施し、適切な舗装構造にしてください。  
 ※3 切土量の算出に関しては、切土部幅(切土部幅の場合6m程度、土砂の場合10m程度)を算出範囲として、地盤強度の急激な変化を避ける施工をして下さい。  
 【参考】道路設計要領 4-18-18 平成29年9月 現在版

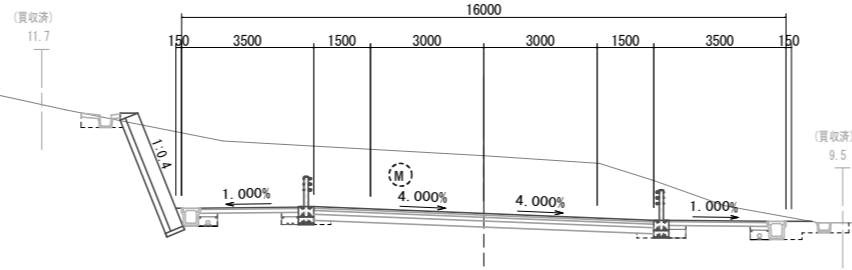
業務名/工事名	平成29年度 市道56号線 (二野・大森線) 舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	横断面 (4)		
縮 尺	1:100	図面番号	8
会 社 名			
事務所名	可見市建設部土木課		

# 横断図 (5)

S=1:100

NO. 54

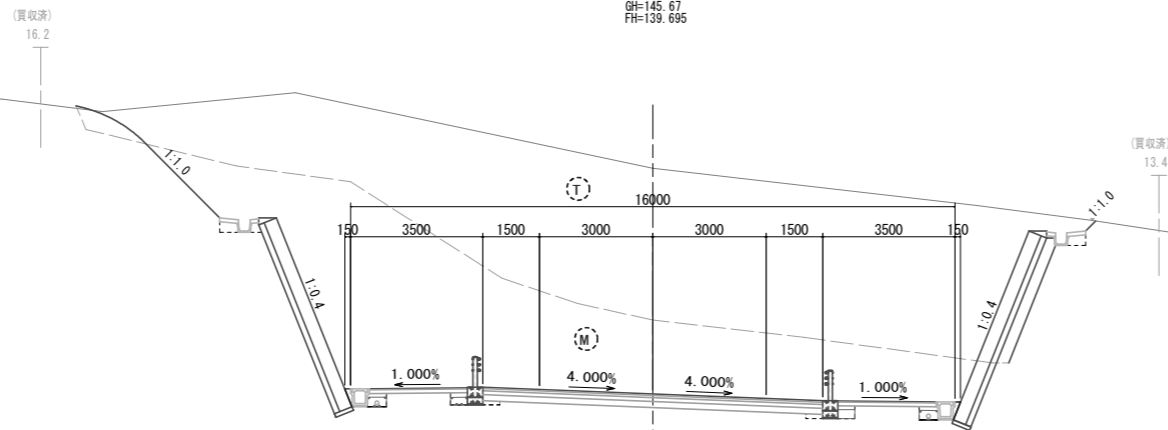
GH=142.12  
FH=140.586



DL=135.00

NO. 53

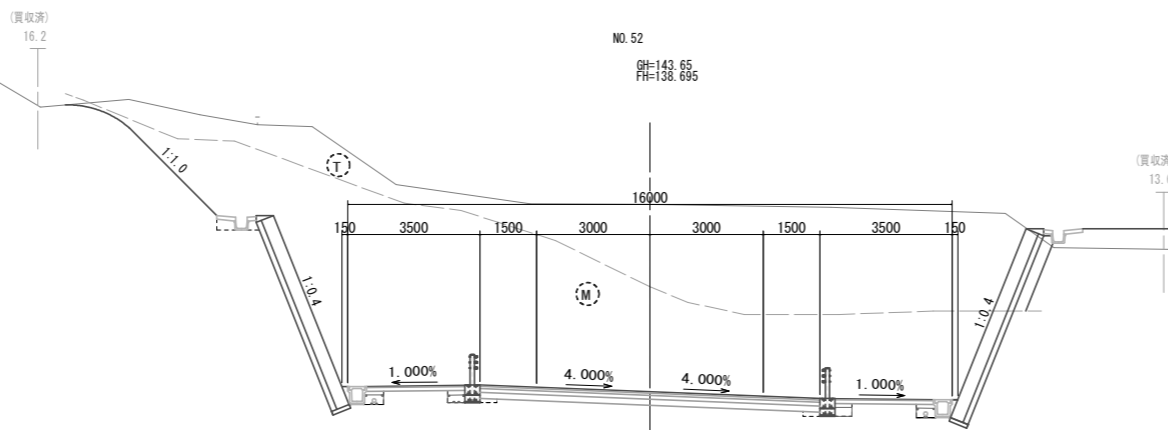
GH=145.67  
FH=139.695



DL=135.00

NO. 52

GH=143.65  
FH=138.695



DL=135.00

### 数量表凡例

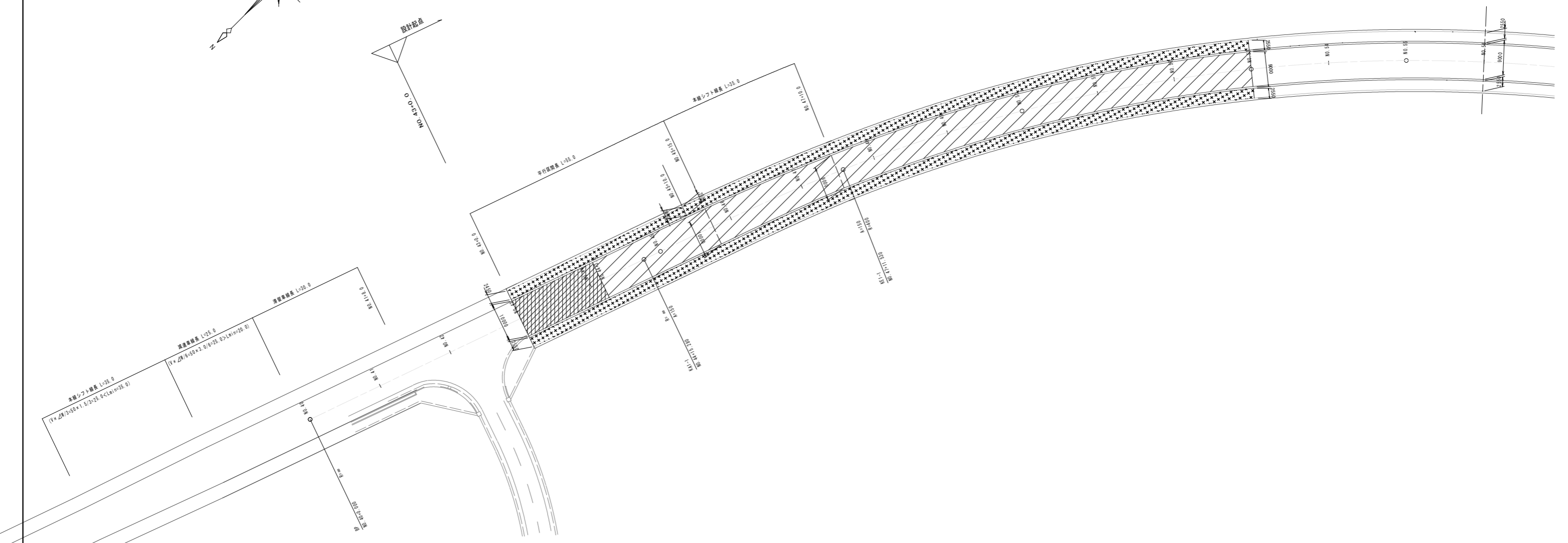
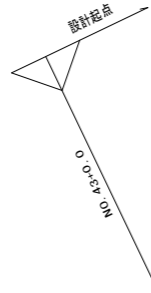
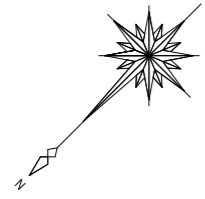
KCA	m <sup>2</sup>	機械掘削
ORCA	m <sup>2</sup>	岩掘削(4-7)
CA	#	人力掘削
KEA	#	機械床掘
REA	#	岩床掘
KSA	#	機械埋戻
SA	#	人力埋戻
BA1	#	路体盛土
BA2	#	路床盛土

※1 想定土層はあくまで想定ですので、現場の対応をお願いします。  
 ※2 積算積算については、現場で確認を要し、適切な積算積算にしてください。  
 ※3 切土部(切土部が深い場合は5m程度、土留の場合10m程度)を掘削区間として、地盤強度の急激な変化を避ける施工を下さい。  
 【参考】道路設計要領 22-18~19 平成24年9月 岐阜県

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線 (二野・大森線) 舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可児市二野地内		
図面の種類	横断図 (5)		
縮 尺	1:100	図面番号	9
会 社 名			
事務所名	可児市建設部土木課		

舗装展開図 (1)

S=1:500



凡 例	
	..... 本線舗装 (A)
	..... 本線舗装 (B)
	..... 歩道舗装 (A)
	..... 歩道舗装 (B)
	..... 支道舗装
	..... 本線舗装 (B)

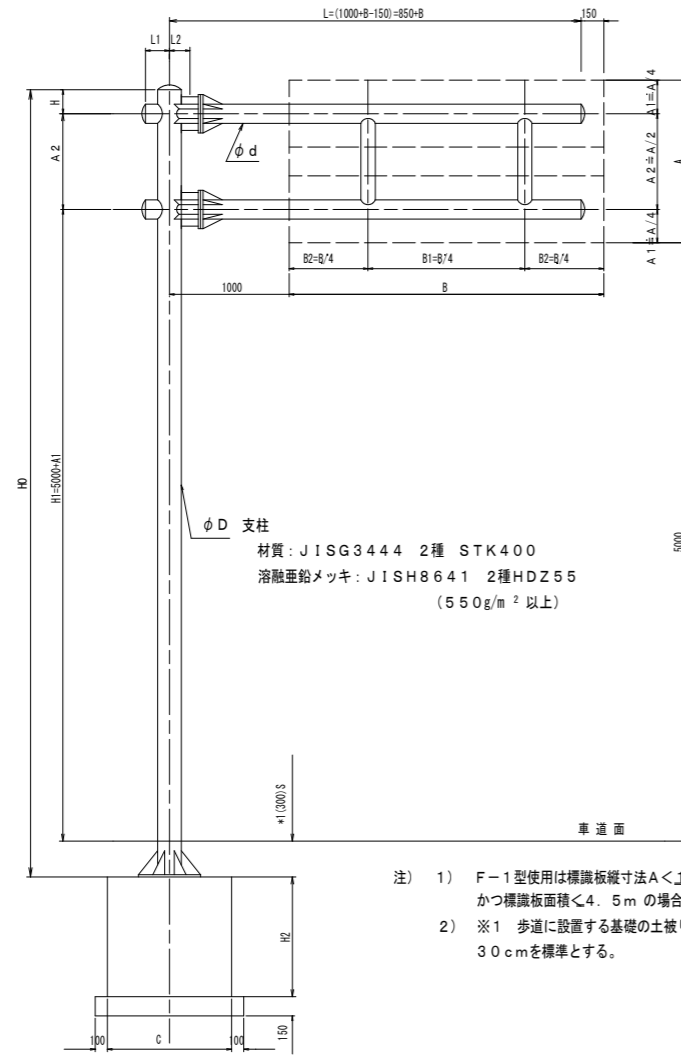
業務名/工事名	平成29年度 市道56号線 (二野・大森線) 舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可児市二野地内		
図面の種類	舗装展開図 (1)		
縮 尺	1:500	図面番号	10
会 社 名			
事務所名	可児市建設部土木課		

※1 想定土層はあくまで想定ですので、現場の対応をお願いします。  
 ※2 舗装構造については、現地でCR調査を実施し、適切な舗装構成にしてください。  
 ※3 切盛地の舗装に関しては、切土部厚 (切土部が厚の場合5m程度、土砂の場合10m程度) を掘削区間として、地盤強度の急激な変化を避ける施工をして下さい。  
 【参考】道路設計要領、p2-18~19、平成24年9月、岐阜県

# 片持標識柱 (F-2型) 構造図

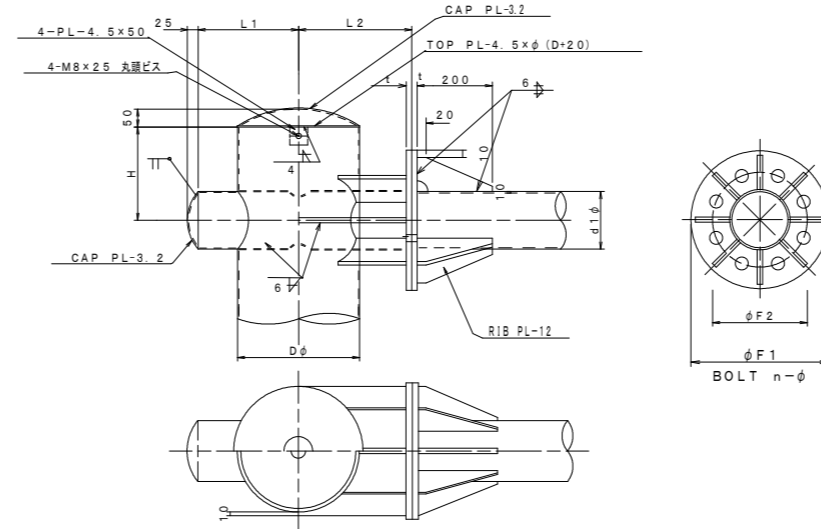
(張り出し長1.0m)

姿図 S=1/30

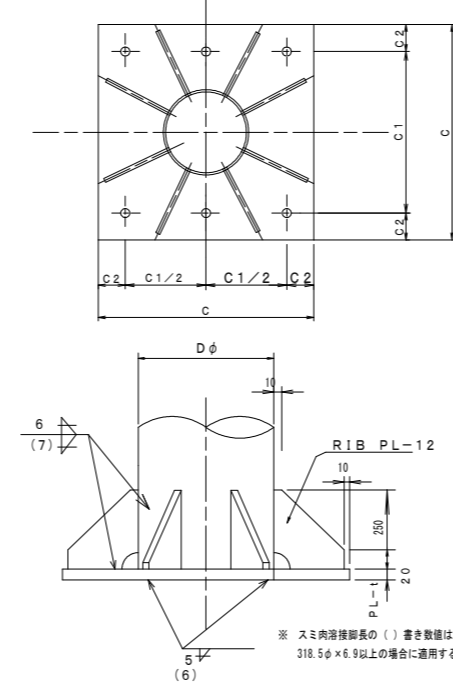


- 注) 1) F-1型使用は標識板縦寸法A<J.5mかつ標識板面積<4.5m<sup>2</sup>の場合  
 2) ※1 歩道に設置する基礎の土抜きは30cmを標準とする。

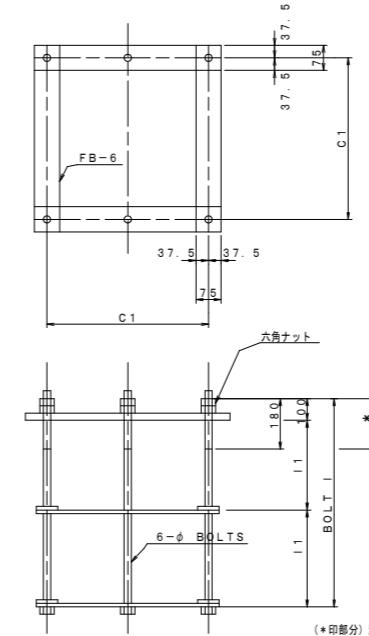
フランジ部詳細図 S=1/10



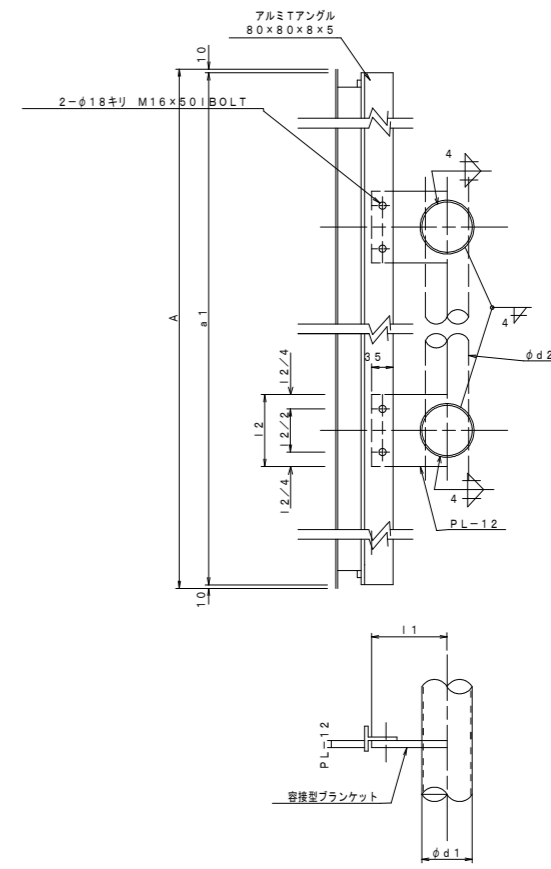
ベースプレート詳細図 S=1/10



アンカーボルト詳細図 S=1/10



標識板取付詳細図 S=1/10



支柱・梁寸法表

適用	標識板面積 A×B	縦横比 B/A	支柱寸法 φD×t	梁寸法 φd1×t	梁寸法 φd2×t	フランジ部寸法表								
						L1	L2	H	フランジ φF1	フランジ φF2	フランジ プレート t	フランジ ボルト n×φ	I1	I2
	3.5m <sup>2</sup> 以下	—	216.3×5.8	114.3×4.5	76.3×3.2	190	250	200	300	220	12	8×M16	200	200
	3.5m <sup>2</sup> 超~4.5m <sup>2</sup> 以下	—	267.4×6.6	139.8×4.5	101.6×4.2	230	250	200	300	220	16	8×M20	200	200
	4.5m <sup>2</sup> 超~5.5m <sup>2</sup> 以下	2.0未満 2.0以上	318.5×6.9	165.2×4.5	114.3×4.5	270	300	250	350	260	16	8×M22	250	250
	5.5m <sup>2</sup> 超~7.0m <sup>2</sup> 以下	—												
	7.0m <sup>2</sup> 超~8.0m <sup>2</sup> 以下	1.5未満 1.5以上	355.6×7.9	190.7×5.3	139.8×4.5	300	300	250	400	300	16	8×M22	250	250
	8.0m <sup>2</sup> 超~9.5m <sup>2</sup> 以下	—												
	9.5m <sup>2</sup> 超~14.0m <sup>2</sup> 以下	—	406.4×9.5	216.3×5.8	139.8×4.5	340	350	300	400	300	22	8×M27	250	250

フランジ部寸法表 単位: mm

アンカーボルト・ベースプレート寸法表

適用	支柱径 φD	アンカー ボルト n×φ	アンカー ボルト l	ベース プレート t	C	C1	C2	リブ プレート t
	216.3	6-M22	700	22	600	450	75	12
	267.4	6-M27	850	25	600	450	75	12
	318.5	6-M33	1000	28	600	450	75	12
○	355.6	6-M33	1000	32	650	500	75	12
	406.4	6-M36	1000	32	700	550	75	12

風荷重設計条件

対象	形式 (設計風速)	※片持式 門型式 歩道橋添架式 (50m/sec)	摘要
支柱		109kg/m <sup>2</sup>	
標識板		188kg/m <sup>2</sup>	ピン構造の吊下げ式は別途考慮する。

※ 両持式(T型式)標識も含む。

※ ○印は、今回施工を示す。

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線(二野大森線)		
施工箇所名	岐阜県可児市 二野・大森 地内		
図面の種類	片持標識柱(F-2型)構造図		
縮尺	図示	図面番号	11
会社名			
事務所名	可児市 建設部 土木課		

標識工構造図(3)

片持標識F-2型

標識板サイズ(2,820×3,150)

数量表		1箇所当り			
種別	断面寸法 (mm)	単重 (t)	数量	重量 (t)	面積 (㎡)
柱	φ 355.6×7.9×7,665	0.51923	1	0.5192	8.56
ベースPL	t 32×650×650	0.10613	1	0.1061	0.85
リップPL	t 12×250×160	0.00214	8	0.0171	0.36
キャップ	t 3.2×355.6φ×1.15	0.00330	1	0.0033	0.26
キャップ	t 4.5×355.6φ×1.15	0.00464	1	0.0046	0.26
キャップ	t 4.5×50×50	0.00009	4	0.0004	0.02
小計				0.6507	10.32
梁	φ 190.7×5.3×3,700	0.08966	2	0.1793	4.43
梁	φ 190.7×5.3×600	0.01454	2	0.0291	0.72
ラチス	φ 139.8×4.5×1,410	0.02117	2	0.0423	1.24
フランジ	t 16×400φ	0.01578	4	0.0631	1.01
フランジリップ	t 12×200×95	0.00107	16	0.0171	0.36
フランジリップ	t 12×107×95	0.00096	4	0.0038	0.08
フランジリップ	t 12×164×95	0.00147	8	0.0118	0.25
フランジリップ	t 12×284×95	0.00254	4	0.0102	0.22
キャップ	t 3.2×190.7φ×1.15	0.00095	4	0.0038	0.30
クランプ	t 12×250×250	0.00589	4	0.0236	0.50
小計				0.3841	9.11
BOLT	M 22×80 B, N, UN, W2	0.00080	16	0.0128	フランジ
BOLT	M 16×50 B, UN, W2, SW	0.00040	8	0.0032	クランプ
BOLT	M 8×30 B, W, SW	0.00010	4	0.0004	キャップ
小計				0.0164	
合計				1.0512	19.43
アンカーボルト	φ 34×1,000(M33)	0.00713	6	0.0428	
アンカーPL	t 6×75×575	0.00203	8	0.0162	
ナット	M 33	0.00025	18	0.0050	
ワッシャ	M 33	0.00009	6	0.0005	
合計				0.0646	
総合計				1.1158	19.43

~~標識板サイズ(2,820×3,870)~~

数量表		1箇所当り			
種別	断面寸法 (mm)	単重 (t)	数量	重量 (t)	面積 (㎡)
柱	φ 406.4×9.5×7,665	0.71275	1	0.7128	9.79
ベースPL	t 32×700×700	0.12309	1	0.1231	0.98
リップPL	t 12×250×165	0.00221	8	0.0177	0.37
キャップ	t 3.2×406.4φ×1.15	0.00431	1	0.0043	0.34
キャップ	t 4.5×406.4φ×1.15	0.00606	1	0.0061	0.34
キャップ	t 4.5×50×50	0.00009	4	0.0004	0.02
小計				0.8644	11.85
梁	φ 216.3×5.8×4,370	0.13158	2	0.2632	5.94
梁	φ 216.3×5.8×690	0.02078	2	0.0416	0.94
ラチス	φ 139.8×4.5×1,410	0.02117	2	0.0423	1.24
フランジ	t 22×400φ	0.02170	4	0.0868	1.01
フランジリップ	t 12×200×80	0.00091	16	0.0146	0.31
フランジリップ	t 12×125×80	0.00094	4	0.0038	0.08
フランジリップ	t 12×175×80	0.00132	8	0.0106	0.22
フランジリップ	t 12×252×80	0.00190	4	0.0076	0.16
キャップ	t 3.2×216.3φ×1.15	0.00122	4	0.0049	0.39
クランプ	t 12×250×250	0.00589	4	0.0236	0.50
小計				0.4990	10.79
BOLT	M 27×110 B, N, UN, W2	0.00120	16	0.0192	フランジ
BOLT	M 16×50 B, UN, W2, SW	0.00040	8	0.0032	クランプ
BOLT	M 8×30 B, W, SW	0.00010	4	0.0004	キャップ
小計				0.0228	
合計				1.3862	22.63
アンカーボルト	φ 38×1,000(M36)	0.00890	6	0.0534	
アンカーPL	t 6×75×625	0.00221	8	0.0177	
ナット	M 36	0.00038	18	0.0068	
ワッシャ	M 36	0.00011	6	0.0007	
合計				0.0786	
総合計				1.4648	22.63

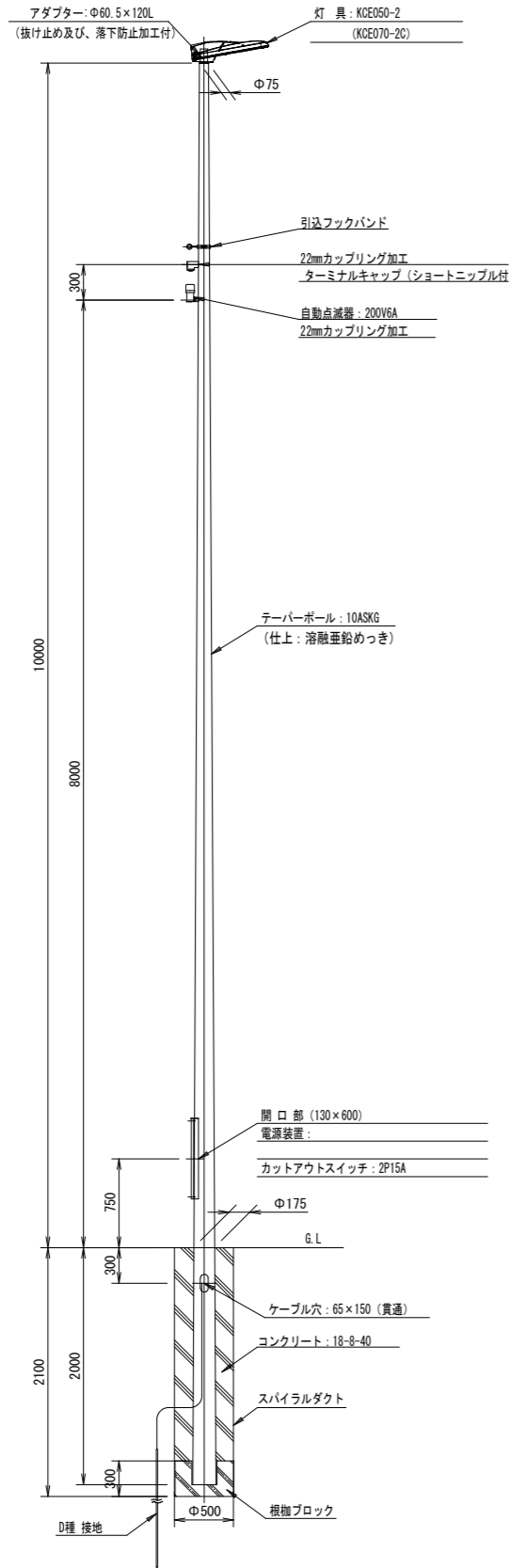
業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	標識構造図(3)		
縮尺	-	図面番号	12
会社名	株式会社 長大		
事務所名	可見市建設部土木課		



# 照明灯詳細図

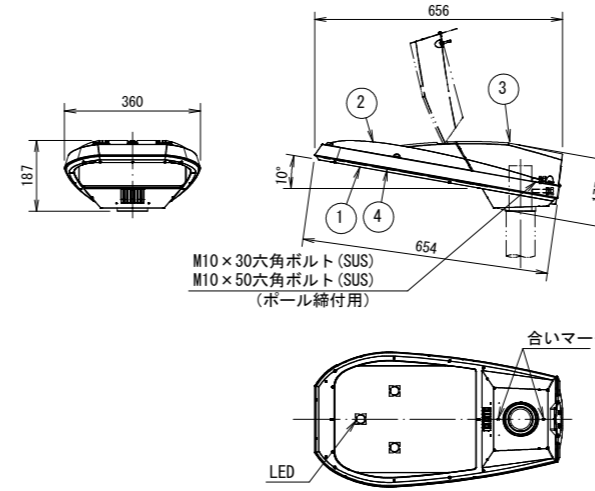
【参考図】

照明柱姿図 S=1/30



照明器具姿図 S=1/10

参考図<KCE050-2> (E7733SA9/250L相当品)



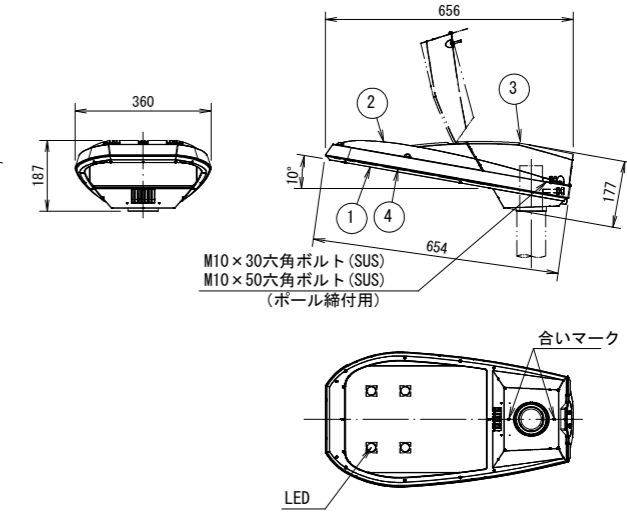
仕上色 メタリックシルバー

部番	部品名	材質・材厚	数	備 考
1	下部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
2	上部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
3	上部カバー	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明

注) 専用電源装置は、ポール内に別置とする。

照明器具姿図 S=1/10

参考図<KCE070-2C> (E7736SA9/300C相当品)



仕上色 メタリックシルバー

部番	部品名	材質・材厚	数	備 考
1	下部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
2	上部本体	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
3	上部カバー	アルミダイカスト	1	ポリエステル粉体塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明

注) 専用電源装置は、ポール内に別置とする。

照明灯(A)材料表 (埋め込み式)

10基当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
照 明 器 具	KCE050-2 定格光束6200lm以上	台	10	
電 源 装 置		台	10	
カットアウトスイッチ	2P15A	個	10	
テーパーポール	10ASKG	本	10	
引込フックバンド	垂絡めつき	本	10	
ターミナルキャップ	22mm	個	10	
自動点滅器		個	10	
ケーブル	VWR2 -2C	m	80	電源
ケーブル	専用ケーブル	組	10	電源装置～器具間
ケーブル	VWR2 -3C	m	80	点滅器
接 地 工	D 種 (接地棒φ10×1500l)	ヶ所	10	
コンクリート	18-8-40	m <sup>3</sup>	3.5	
スパイラルダクト	φ500 t0.6	m	21	
根柢ブロック		個	10	

照明灯(B)材料表 (埋め込み式)

10基当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
照 明 器 具	KCE070-2C 定格光束8400lm以上	台	10	
電 源 装 置		台	10	
カットアウトスイッチ	2P15A	個	10	
テーパーポール	10ASKG	本	10	
引込フックバンド	垂絡めつき	本	10	
ターミナルキャップ	22mm	個	10	
自動点滅器		個	10	
ケーブル	VWR2 -2C	m	80	電源
ケーブル	専用ケーブル	組	10	電源装置～器具間
ケーブル	VWR2 -3C	m	80	点滅器
接 地 工	D 種 (接地棒φ10×1500l)	ヶ所	10	
コンクリート	18-8-40	m <sup>3</sup>	3.5	
スパイラルダクト	φ500 t0.6	m	21	
根柢ブロック		個	10	

LED電源装置 特性表

照明器具	入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	入力電流 (A)			入力電力 (W)			出力電流 (mA)	最大出力電圧 (V) (無負荷時)
			点灯初期時 (最小時)	点灯6万時間経過時 (最大時)	点灯6万時間平均	点灯初期時 (最小時)	点灯6万時間経過時 (最大時)	点灯6万時間平均		
KCE050-2 (E7733SA9/250L相当品)	100	50/60	0.44	0.57	0.51	44	56	50	高力率	760×1ch
	200		0.22	0.28	0.25	44	55	50		
	242		0.19	0.24	0.22	44	55	50		
KCE070-2C (E7736SA9/300C相当品)	100	50/60	0.58	0.74	0.66	57	73	65	高力率	730×2ch
	200		0.30	0.37	0.34	58	72	65		
	242		0.26	0.32	0.29	59	73	66		

【参考図】

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線 (二野・大森線) 舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線 (二野・大森線)		
施工箇所名	岐阜県可児市 二野・大森 地内		
図面の種類	照 明 灯 詳 細 図		
縮 尺	1:30	図面番号	13
会社名			
事務所名	可児市 建設部 土木課		

標識レイアウト図 (1) <別途工事：参考図面>

(案内標識)

S=1:20

片持標識(A)

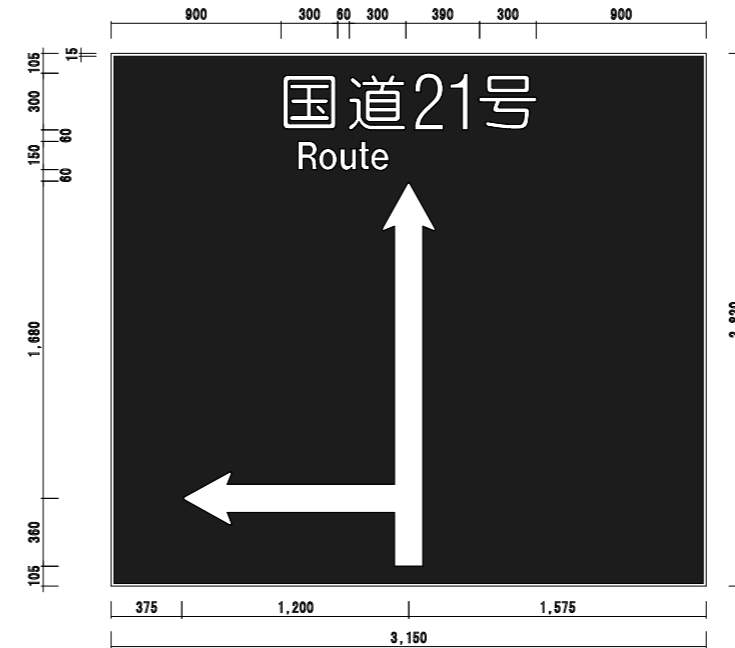
案内標識(108の2-A)  
(No. 36+18.0 左側)



案内標識(108の2-A)  
(No. 36+18.0 左側) 数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミニウム合金板	JIS H 4000	m <sup>2</sup>	8.88	厚さ2mm
反射シート(青)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	7.27	
反射シート(白)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	1.61	

案内標識(108の2-A)  
(No. 47+10.0 右側)

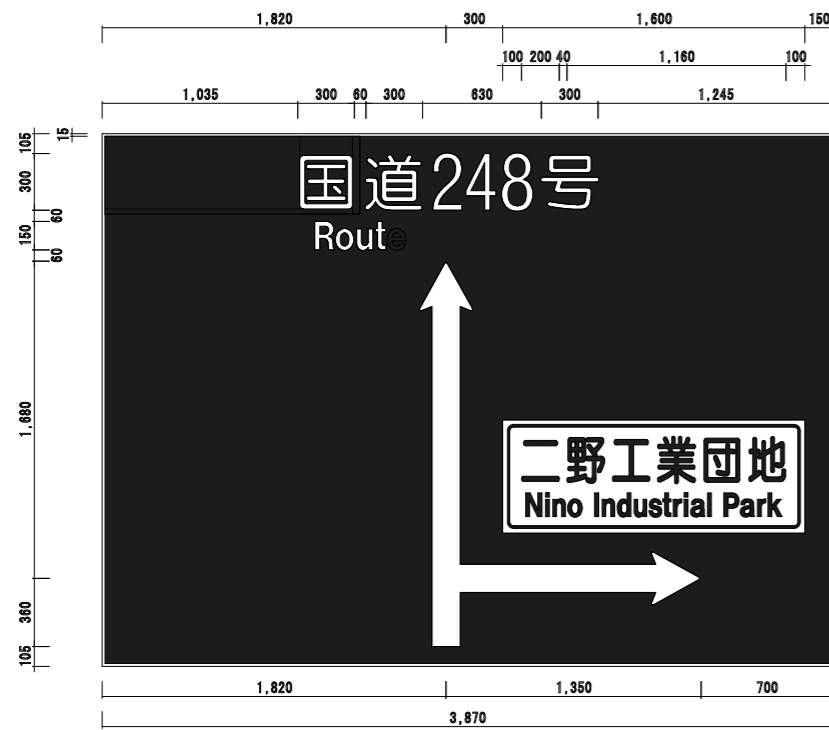


案内標識(108の2-A)  
(No. 47+10.0 右側) 数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミニウム合金板	JIS H 4000	m <sup>2</sup>	8.88	厚さ2mm
反射シート(青)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	8.08	
反射シート(白)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	0.80	

片持標識(B)

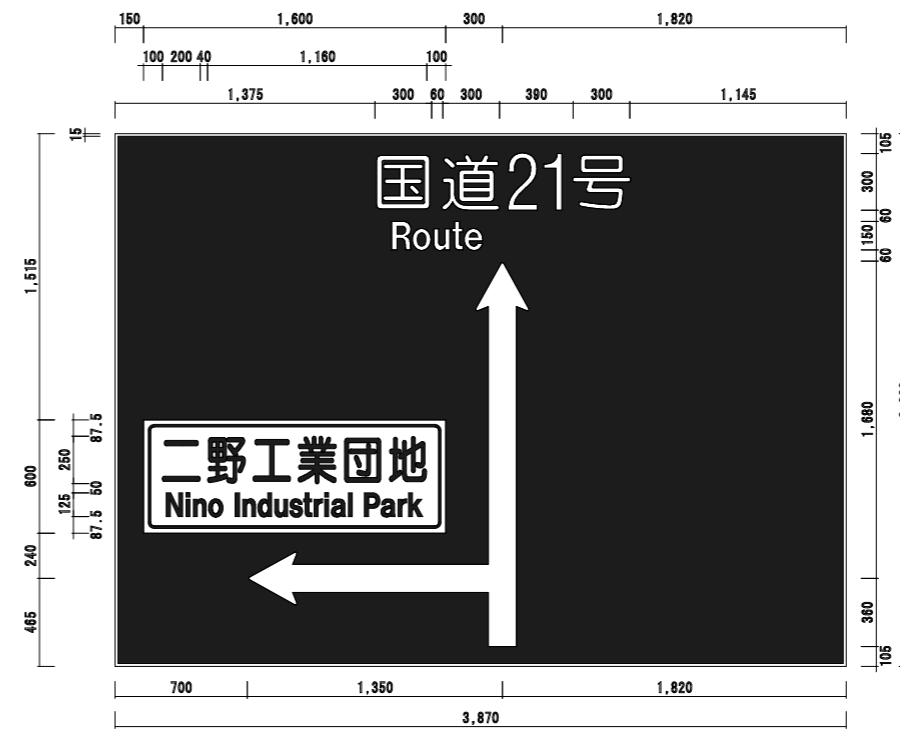
案内標識(108の2-A)  
(No. 70+12.0 左側)



案内標識(108の2-A)  
(No. 70+12.0 左側) 数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミニウム合金板	JIS H 4000	m <sup>2</sup>	10.91	厚さ2mm
反射シート(青)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	9.29	
反射シート(白)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	1.62	

案内標識(108の2-A)  
(No. 81+10.0 右側)



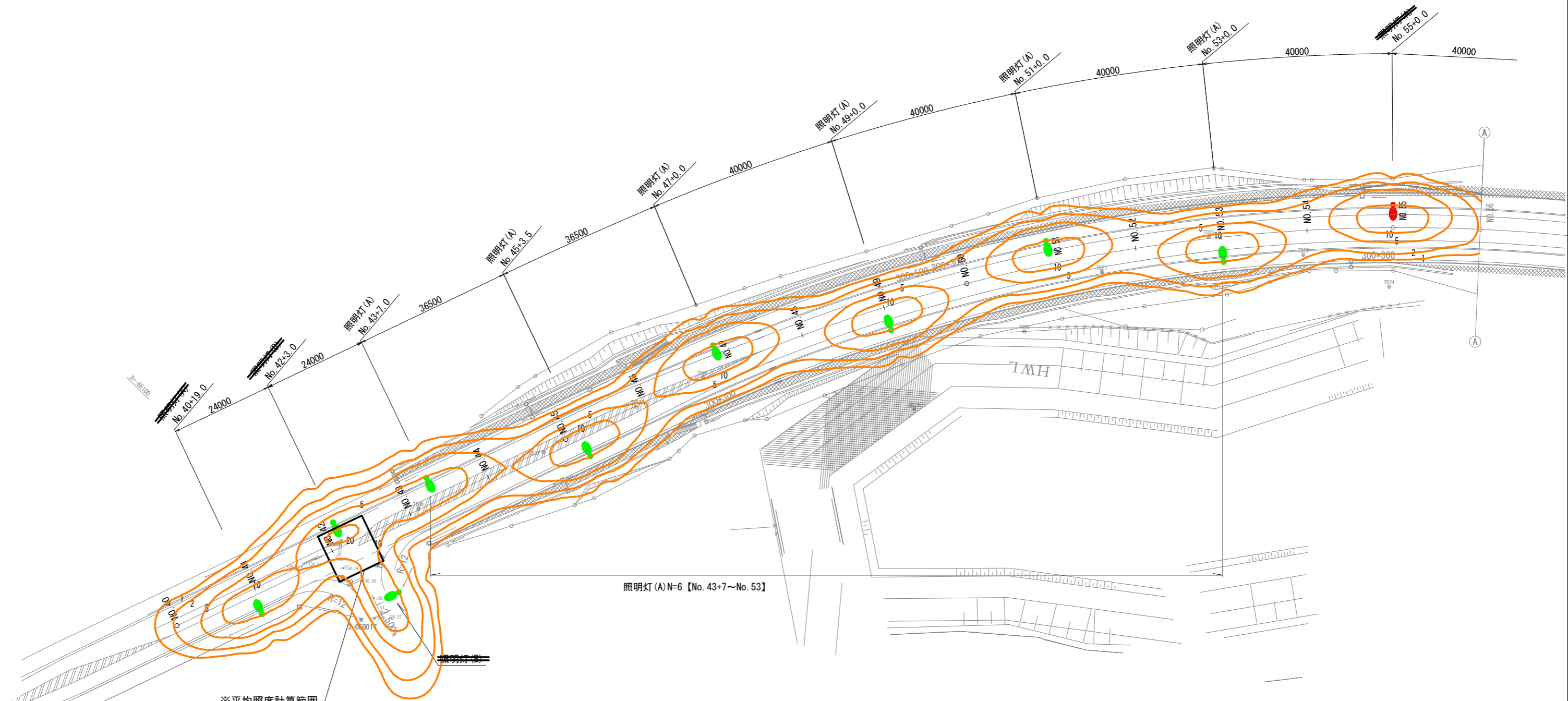
案内標識(108の2-A)  
(No. 81+10.0 右側) 数量表 1式当り

名称	規格	単位	数量	摘要
アルミニウム合金板	JIS H 4000	m <sup>2</sup>	10.91	厚さ2mm
反射シート(青)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	9.27	
反射シート(白)	カプセルプリズム型	m <sup>2</sup>	1.64	

業務名/工事名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線・河川名等	市道56号線		
施工箇所名	可見市二野地内		
図面の種類	標識レイアウト図(1) 参考図		
縮尺	1:20	図面番号	14
会社名			
事務所名	可見市建設部土木課		

# 照度分布図(1) S=1:500

## <参考図>



※平均照度計算範囲  
交差点1

凡例

照明器具形式	E7733SA9/250L相当品
ランプ形式	LED
定格光束 (lm)	6200の場合
保守率	0.7
灯高 (m)	10
台数	26

平均照度及び範囲

	交差点 1
維持平均照度 (lx)	14.2
最大照度 (lx)	22.2
最小照度 (lx)	4.2
均斉度 (最小/平均)	0.295

- 注記
- 1) 図中、曲線上の数値は維持水平面照度を示す。単位 (lx)
  - 2) 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しない。
  - 3) 灯具数は、照度分布図(1)~(3)の合計とする。

業務名	平成29年度 市道56号線(二野・大森線)舗装工事		
路線名	市道56号線		
施工箇所名	可見市 二野地内		
図面の種類	照度分布図(1) <参考図>		
縮尺	1:100	図面番号	15
会社名			
事務所名	可見市 建設部 土木課		